

8月16日からの大雨による被害等について

1 被害の状況と対応

(1) 人的被害

- ・死者 2名 (川西市1名、丹波市1名)
- ・重傷 1名 (丹波市)
- ・軽傷 3名 (丹波市)

(2) 住家被害

市町名	住家被害 (棟)					
	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
神戸市				1		1
西宮市						3
伊丹市 (※)					4	8
宝塚市					1	6
宝塚市 (※)					8	143
川西市 (※)				2		3
三田市					2	34
猪名川町				4	3	18
西脇市 (※)						22
篠山市						2
丹波市	17	8	39	1	140	723
計	17	8	39	8	158	963

※上記「伊丹市 (※)」、「宝塚市 (※)」、「川西市 (※)」及び「西脇市 (※)」については8月24日の降雨による被害。

(3) 主な施設の被害状況等

ア 道路の規制 (8/18ピーク) 全面通行止 9箇所、片側規制 2箇所

【全面通行止の主な路線】※いずれも丹波市。迂回路確保などで集落等の孤立なし

- ・国道 175号 (市島町中竹田～府県境) [崩土]
- ・国道 175号 (市島町八日市) [落橋] など

◇被災橋梁の撤去完了。来年夏の架け替え完了・供用を目指す。

【国道175号全面通行止に伴う舞鶴若狭自動車道の無料通行措置】

- ・8月26日16時～10月11日10時：春日IC～福知山IC間無料通行措置実施

【全面通行止の高速道路 (8/18までに解除)】

- ・舞鶴若狭道 (上り) 舞鶴東IC～福知山IC
(下り) 春日IC～舞鶴東IC
- ・阪神高速北神戸線 (西行) 西宮山口JCT～西宮山口南
(東行) 西宮山口南～西宮山口JCT

イ 鉄道（8月27日までにすべて解消）

【運転見合せ区間：ピーク時】

- ・ JR：山陰本線 園部～和田山、宝塚線 宝塚～篠山口、
福知山線 篠山口～福知山
- ・ 神戸電鉄：谷上～岡場

ウ 土砂崩れ

- ・ 丹波市市島町徳尾地区などで、土砂崩れ（72箇所確認）
◇ 沖村名誉教授（神戸大学）、TEC-FORCE、土砂災害専門家の調査結果を踏まえ、緊急事業箇所の調査・設計中。
- ◇ 丹波市からの応援要請を受けて、兵庫県防災エキスパート等県技術職員OB7名が現地に入り、土砂崩れ箇所の応急工事の技術的助言を実施。
- ◇ 丹波市からの要請により、県技術職員を随時派遣し、林地崩壊防止対策事業等にかかる技術的指導を実施。

エ 河川

- ・ 前山川（丹波市）など16河川124箇所において、護岸損傷及び浸食が発生
◇ 徳尾川（鴨阪橋上流付近）で、河道閉塞箇所掘削完了。
- ◇ 前山川（八日市橋上流付近から余田橋）で、大型土嚢積み9月9日完了。
- ◇ 美和川（JR交差点付近から上流）で、大型土嚢積み9月8日完了。

オ 宅地流入土砂

- ・ 市島町を中心に宅地内に土砂が堆積
◇ 丹波市において、除去作業を建設業協会と連携して実施中。
丹波市への撤去要請件数197件。うち195件の撤去を完了し、2件を実施中。（個人及びボランティア等による撤去は含まず）

カ 農地等

- ・ 丹波市市島町、春日町、氷上町で複数箇所の農地及び施設で崩壊・土砂流入
◇ 丹波市からの要請により県技術職員を派遣し、災害復旧事業等にかかる技術的指導を実施。（8/25～9/5及び、9/17～11/28）
- ・ 宝塚市玉瀬、猪名川町で複数箇所の農地及び施設（水路等）で崩壊等
- ・ 丹波市市島町、氷上町等の林道29路線において、法面崩壊や路体流出等が発生
◇ 丹波市からの要請により、県技術職員を随時派遣し、災害復旧事業等にかかる技術的指導を実施。（9/24～11/21）

（4）ライフラインの被害状況

ア 停電（8月22日夕刻に全て解消）

- ・ ピーク時 県内：約6,850軒
〔 神戸市：約2,800軒、西宮市：約20軒、川西市：約1軒、淡路市：約200軒、
丹波市：約2,310軒、神崎郡：約270軒、赤穂市：約1,250軒 〕

イ 水道（9月17日に全て解消）

- ・ ピーク時 断水：1,563世帯（丹波市）
〔 新友政（シノトモサ）浄水場地区：1,238世帯、市ノ貝（イチノカイ）配水池地区：59世帯、
鴨阪（カモサカ）浄水場地区：220世帯、乙河内（オトガワチ）浄水場地区：46世帯 〕

2 被災者生活支援等の状況

(1) 避難者の状況

市 町	ピーク時 (8/16~18)	
	世帯数	人数
宝塚市	不明	17
西宮市	7	17
猪名川町	2	7
丹波市	37	81
計	(46)	122

◇避難者全世帯に、県営・市営住宅、雇用促進住宅を斡旋済 (9/10全避難所を解消)。

◇丹波市役所市島支所内に住宅の再建・補修等に関する相談窓口開設 (8/28~9/26)。

(2) ボランティア活動状況

◇8/19~10/27 丹波市災害ボランティアセンター設置

	人 数	(うち個人)	(うち団体)
8/19~10/27 計	15,883人	(5,292人)	(10,591人)

◇9/17~ 復興支援ボランティアセンターへ移行 (丹波市社会福祉協議会市島支所内)
竹田・前山・美和地区にも拠点を設置

◇災害ボランティアの派遣 (ひょうごボランタリープラザ)

先遣隊：8/18 スタッフ4人

第1次：8/19 25人、第2次：8/20 24人、第3次：8/26 27人、

第4次：8/27 23人、第5次：9/ 2 24人、第6次：9/ 3 27人、

第7次：9/10 24人 (県立大学との協働バス)、第8次：9/11 24人

第9次：9/19 25人、第10次：9/26 24人、第11次：10/9 21人

(3) 廃棄物対策

木製家具や畳、家電製品、流木等の廃棄物や土砂にまみれた混合廃棄物が発生。

◇市島地区は、市島市民グラウンドを仮置き場として受け入れ (受入期間：8/18~9/7)

以後は、廃棄物の搬入申し込みに応じ、随時受け付け。

他市町・一部事務組合の応援終了 (9月9日)

市処理センター及び民間処理施設において早期処理完了を目指す。

【仮置き場集積量】 可燃ごみ：4,070^m₃

(ピーク7日17時現在) 不燃ごみ：2,430^m₃

土 砂：3,180^m₃

3 法適用等の状況

(1) 災害救助法の適用

丹波市 (適用日：8月17日)

(2) 被災者生活再建支援法の適用

丹波市 (適用日：8月17日)

(3) 激甚災害 (本激) の指定 (農地等の災害復旧事業等)

全国 (公布・施行日：9月10日)

4 本県の対応状況

- 17日 3:35 自衛隊へ派遣要請（救助要請）（8:49現場到着）
5:20 丹波市役所に職員派遣（丹波県民局より2名）
8:25 消防防災航空隊出動（1機目）
10:15 兵庫県災害対策本部設置
12:20 消防防災航空隊出動（2機目）
14:00 第1回兵庫県災害対策本部会議
本部会議終了後、知事現地視察（防災部局及び丹波県民局より職員同行）
15:26 自衛隊へ撤収要請
- 18日 8:30 第2回兵庫県災害対策本部会議
午後 内閣府政府調査団へ状況説明、現地調査に同行
17:00 第1回兵庫県災害対策連絡会議
- 19日 丹波市における家屋被害認定調査の支援調整開始
午前 丹波市に「ひょうご災害緊急支援隊」10名を派遣
午前 三木広域防災センターから丹波市へ災害用仮設トイレ30基配送
11:25 国土交通省に対しTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣を要請
（20日～22日先遣班13～14名が現地調査）
14:00 第2回兵庫県災害対策連絡会議
- 20日 14:00 第3回兵庫県災害対策連絡会議
午後 三木広域防災センターから丹波市へブルーシート1,000枚等配送
（24日に1,100枚追加）
- 21日 午前 県内及び大阪府、京都府から丹波市への自治体の救援車両、ボランティア
従事車両の有料道路通行料金免除を実施
午前 「兵庫県まちづくり技術センター」が丹波事務所に丹波市支援拠点を設置
（20日の丹波市の要請に応じ、災害査定業務等を支援）
14:00 第4回兵庫県災害対策連絡会議